

JSS 北海道 第5回地方会 「超音波講演会」のお知らせ

主催 日本超音波検査学会

JSS北海道 第5回地方会では、超音波講演会を下記のように開催いたします。

今回のテーマは「検診超音波検査のスタンダード」です。検診において腹部超音波検査が施行されるようになり、およそ4半世紀が経過しました。近年では超音波診断装置の格段の進歩や生活習慣の変化に伴い腹部のみならず、血管や心臓、乳腺・甲状腺などの表在臓器も超音波検診の対象となりつつあります。また昨年からは超音波検査士制度の対象領域に「健診」が追加され、スクリーニング検査においても検査士取得が可能になりました。超音波検診に従事する技師も幅広い知識の習得とレベルアップが必要となってきています。

今回、検診の頸動脈、消化器、表在臓器におけるワークショップの他に、奈良県立医科大学の平井都始子先生に「超音波検査士に期待すること」と題して講演いただきます。

明日からの検診超音波検査のステップアップとなるような講演・討論を企画しておりますので、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

テーマ：「検診超音波検査のスタンダード」

日 時：2006年7月15日（土）14時00分～18時40分

会 場：札幌医科大学教育研究棟1階 大講堂

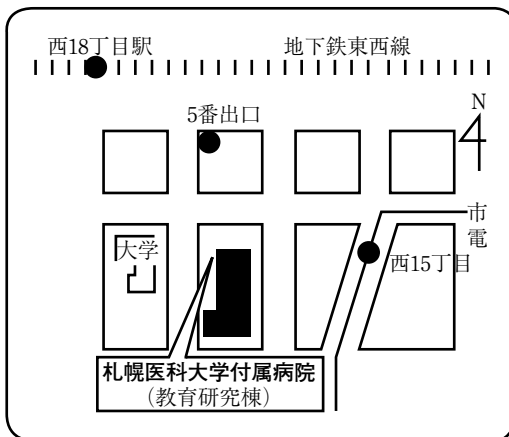
参加費：会員：1,000円 当日会員：3,000円 事前申し込みの必要はありません。

ご注意：*会場内へのビデオ等の持ち込みはご遠慮願います。

*平成17年度より会員の方も参加費を徴収することになりましたのでご了承ください。

*日本超音波医学会認定超音波検査士の資格更新単位（5単位）を取得できます。

*当日会員とは、当会会員以外の資格で参加されるすべての方を対象とします。



札幌医科大学臨床研究棟1階 大講堂

北海道札幌市中央区南1条西16丁目
(付属病院の北側)

- 札幌市営地下鉄東西線「西18丁目駅」下車，5番出口より徒歩3分
- 札幌市営電車「西15丁目」下車徒歩3分

連絡先：〒080-0805 北海道帯広市東5南9-2 帯広協会病院検査科 田村 悦哉

TEL: 0155-22-6600 E-mail: tamura@jss.org (できるだけEメールでお願いします)

JSS北海道 第5回地方会 プログラム

7月15日(土)

時 間	内 容
13:30~14:00	受 付
14:00~14:10	オリエンテーション
14:10~14:50	<p>第Ⅰ部 一般演題</p> <p>座 長：石川 嗣峰(手稲溪仁会病院臨床検査部) 鬼柳かおり(東旭川病院検査科)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3D心エコー図解析ソフト(QLAB)の使用経験 星 詠子(旭川赤十字病院検査部) 乳腺腫瘍性病変における超音波カテゴリ分類の試み 野瀬 弘之(帯広厚生病院放射線技術部門) 門脈血栓症の一例 佐藤 文昭(天使病院生理検査科) 大網内に魚骨を描出した小腸穿孔の1例 斉藤 礼子(道北勤医協一条通病院)
14:50~15:10	<p>第Ⅱ部 報告「検査士認定試験 健診領域を受験して」 戸田 康文(帯広厚生病院放射線技術部門)</p> <p>今年初めて「健診領域」の超音波検査士試験が開催されました。受験までのプロセスや内容について報告します。</p>
15:10~15:20	休 憩
15:20~17:20	<p>第Ⅲ部 ワークショップ「検診超音波検査のスタンダード」</p> <ol style="list-style-type: none"> 検診の消化器～肝臓を中心に～ 諸戸裕美子(稲積記念病院臨床検査科) 検診の頸動脈 千葉 祐子(北海道労働保健管理協会臨床検査部) 検診の表在領域 来住野 修(埼玉医科大学病院中央検査部生理機能検査室) 「検診Q&A」 司 会：野田 靖子(北海道社会保険病院検査部) 三森 太樹(札幌徳州会病院検査科) <p>各領域のエキスパート検査士に「検診エコーの押さえるべきポイント」について話をさせていただきます。また「Q&A」では検診エコーで日頃より悩んでいることや質問などを参加者から募り講師とともにディスカッションしていきます。</p>
17:20~17:30	休 憩
17:30~18:40	<p>第Ⅳ部 特別講演「超音波検査士に期待すること」 講 師：平井都始子(奈良県立医科大学付属病院中央内視鏡・超音波部) 司 会：戸田 康文(帯広厚生病院放射線技術部門)</p> <p>超音波装置の進歩により、カラードブラ、造影超音波、3次元表示など様々な手法が発達し、最新の手法を使わなければ精度の高い検査ができないように思われがちですが、私は超音波検査で最も大切なのはBモードによる観察だと考えています。検診の場では、精密検査よりも高い精度の観察力が要求されます。この観察力を磨くには、自分の経験症例を他の画像検査やできれば手術所見と対比し、一つひとつ大切にすることが一番の方法だと思います。検査士の皆さんに期待することや検査士の教育で実際に実践していることなどお話ししたいと思います。</p>